

別紙

評価基準

様式	評価項目	評価の着目点	評価基準	配点	評価
様式3	業務実績	成果の確実性	同種業務の実績について2件以上有している場合に優位に評価する。	10	①
様式4－1	実施体制	成果の確実性	配置予定の管理技術者が同種業務の実績について2件以上有している場合に優位に評価する。	10	①
任意様式	取組方針等	業務理解度	業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	15	②
		実施手順	業務の実施手順、工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	15	②
	技術提案のテーマ	的確性	着目点、課題、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあって有効性が高い場合に優位に評価する。	25	③
		実現性	提案内容が具体的で説得力がある場合、類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	25	③
様式6	見積金額	見積の妥当性	見積金額が委託金額の上限額を超えている場合は選定しない。	—	
評価点				100	

【評価①】

2件以上	10点
1件	5点

【評価②】

特に優れている	15点
優れている	12点
標準	9点
やや劣っている	6点
劣っている	3点

【評価③】

特に優れている	25点
優れている	20点
標準	15点
やや劣っている	10点
劣っている	5点